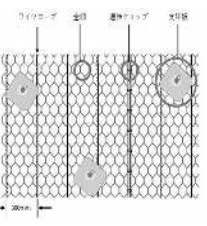
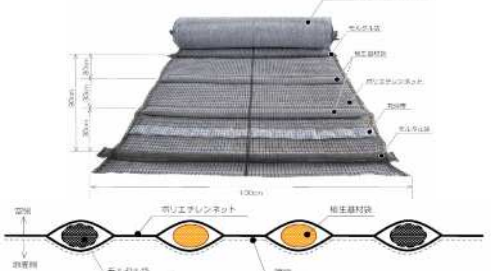
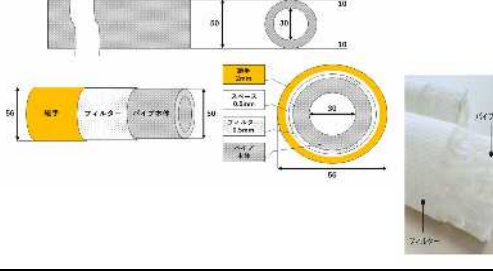
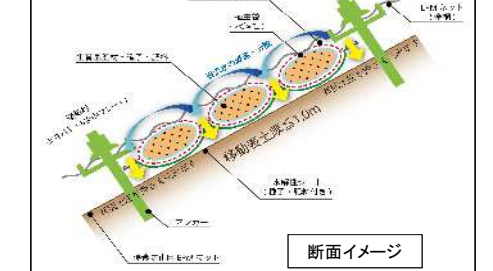
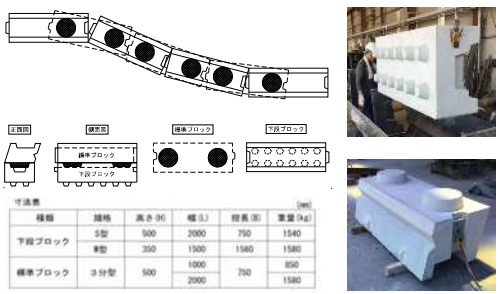
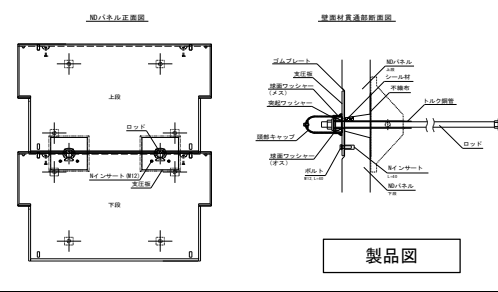


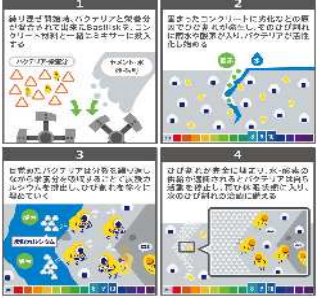
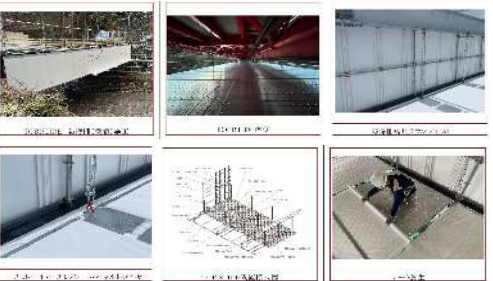
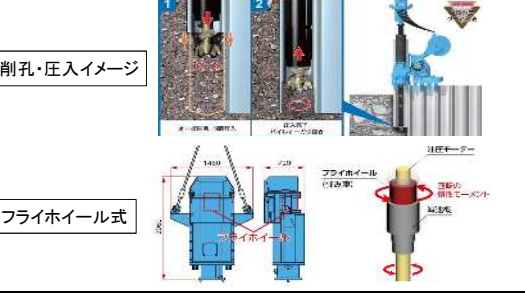
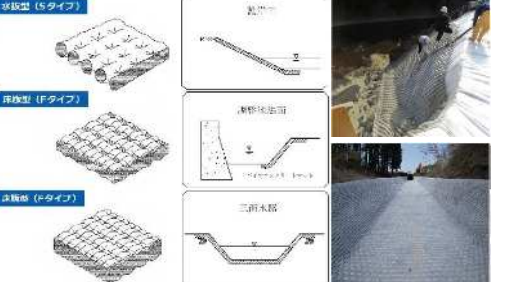
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
土工	掘削工	1	2302001A カメラ式人検知システム「HADES」 ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所	概要 概要 概要 カメラ映像をAIの物体認識機能にて自動判別、人物を認識した場合のみ信号を発信します。その信号を利用し、機械緊急停止や警報の発報等の制御を行い事故を未然に防ぐ装置です。   カメラ撮影範囲内に人が侵入するとAIが自動で人を認識、認識と同時に信号を発信します。 人体が検出されなくなると、手や膝の触れこみで人として認識されます。 検知範囲、検出可能距離はカメラの視野角の範囲により対応できます。・検知範囲が広い。・検知距離が長い。・検知精度が向上。・検知精度が向上。	本技術は、主に車両系建設機械に取付けたカメラで撮像された映像をAIにてリアルタイム解析し、人物が映った際に信号を発信して、機械の自動停止、警報の発報を行うシステムであり、安全性の向上が図れる。
			2001007A マクロネットHR工法 (株)プロテックエンジニアリング 九州支店	完成写真 製品仕様  	斜面表層部の不安定層を、ワイヤロープを編み込んだ高強度ネット、補強材及び支圧板で固定することで斜面を安定化させる技術である。従来は、吹付砕工で対応していた。本技術の活用によりコスト削減および施工性の向上が期待できる。
			2001008A キョウジンガー工 九州日植(株)		キョウジンガー工は、ドライモルタルを充填した袋を装着した緑化基礎工付植生工です。人力のみで施工が可能であり、のり面の凹凸に馴染ませた状態で設置されたモルタル袋は、その後降雨などの水分で固化し緑化基礎工となり、生育基盤の安定化・改善などの効果を発揮します。
共通工	法面工	4	2102010A BJT工法 (有)エコ・プロ 福岡営業所	草木が育つ仕組み 	従来工法では、施工後の飛来種子(雑草、木)の繁茂による視界不良が原因となり、草刈コストが増大していた。本技術は、酸性の強い土壌(pH3.5~4.0程度)を構築することにより、酸性土壌に強い、日本古来種である野芝のみを定着させ、飛来種子の繁茂を抑制し、草刈コストを低減するものである。
			2201001A ウォーターロードパイプ (株)スティールド		本製品は集水能力が優れているため、地滑り地塊の間隙水圧を速やかに低下させることができ、酸化鉄細菌・藻類の発生を制御できるので孔内閉塞による排水能力の低下を防止でき、樹脂繊維ポーラス構造なので地形変化への追随性にも優れている集排水管です。
			2301001A EPM (株)トース福岡支店		本技術は斜面の侵食防止や厚さ1.0m以下の表層土砂の流出を継続的に抑制する技術である。従来は吹付砕工+植生基材吹付工、吹付砕工+枠内吹付で対応していたが、本技術を活用することで、吹付砕にて使用する吹付プラントの設置が不要となり、狭隘な場所や山岳地などでの施工が可能となる。

2. 申請情報

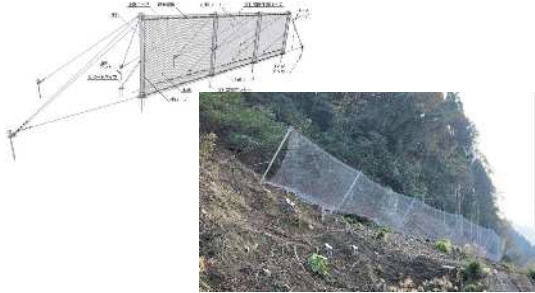
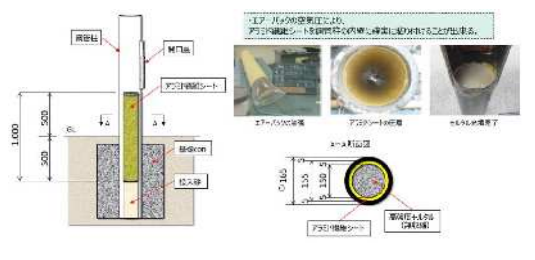
分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
共通工	擁壁工	7	2002004A 災害応急対策用 ブロック レスキュー ブロック 一般社団法人 RB研究会		従来は、土砂流出防止の応急対策として大型土のうを利用していたが、素材が繊維のため、繰り返し利用や経年劣化により製品の破損が多発していた。本製品は、コンクリート製のため、繰り返しの利用や経年劣化による破損が無い製品である。
			2002009A M1ウォール工法 ヒロセ補強土(株) 九州沖縄営業部		従来のプレキャスト大型ブロックと比べ、Pca部材を軽量化してクレーンを必要とせず狭隘な場所で施工が可能であり、R施工及び縦断勾配が目立つ箇所での施工時に現場打ち用の型枠を必要としない事及びブロック控え長と表面の勾配は最適な断面形状に設定できる点において優れている。
			2202001A 石積接着補強工 法（モルダム工 法） 九州防災 メンテナンス(株)		本技術（モルダム工法）は、既設石（ブロック）積み擁壁の補修・補強に関する技術である。劣化した既設の石積みに特殊充填剤を注入する事で高強度、高接着力により長寿命化を図る事ができる。又、排水材料の改良で排水機能を向上させ背面土圧の軽減を図れる。
		10	2301002A NDパネル 岡三リビック(株) 九州支店		本技術は、補強材を前面に突出させるための多数アンカー式補強土壁用の壁面材及び連結部材であり、従来は壁面材の背面で補強材を連結していた。本技術の活用により補強材の非破壊検査による診断が可能となり、補強土壁の安全性向上及び診断時の作業安全性や施工性の向上が図れる。
			2101001A TPマットレス工法 大嘉産業(株) 福岡営業所		TPマットレス工法は、軟弱な基礎地盤の表層もしくは基層部に、高強力ポリエステル織布と良質な中詰材料を用いて、立体的かつ盤状に組立てた構造体を設置することで、上載構造物の荷重分散および、せん断抵抗を発揮させ、基礎地盤を補強する工法である。
			2102003A 真空スポンジ 接着工法 一般社団法人 真空スポンジ接着工 法組合		真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。
	軟弱地盤処理工	11	2101001A TPマットレス工法 大嘉産業(株) 福岡営業所		TPマットレス工法は、軟弱な基礎地盤の表層もしくは基層部に、高強力ポリエステル織布と良質な中詰材料を用いて、立体的かつ盤状に組立てた構造体を設置することで、上載構造物の荷重分散および、せん断抵抗を発揮させ、基礎地盤を補強する工法である。
			2102003A 真空スポンジ 接着工法 一般社団法人 真空スポンジ接着工 法組合		真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。
			2102003A 真空スポンジ 接着工法 一般社団法人 真空スポンジ接着工 法組合		真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。
	コンクリート工	12	2102003A 真空スポンジ 接着工法 一般社団法人 真空スポンジ接着工 法組合		真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。
			2102003A 真空スポンジ 接着工法 一般社団法人 真空スポンジ接着工 法組合		真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。
			2102003A 真空スポンジ 接着工法 一般社団法人 真空スポンジ接着工 法組合		真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。真空スポンジ接着工法は、専用2液性樹脂接着剤を特殊ウレタンスポンジに吸収させ、気泡を無くした真空の状態です。

2. 申請情報

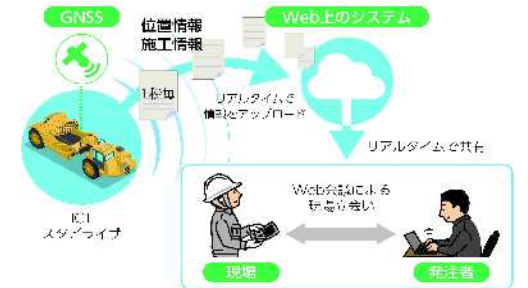
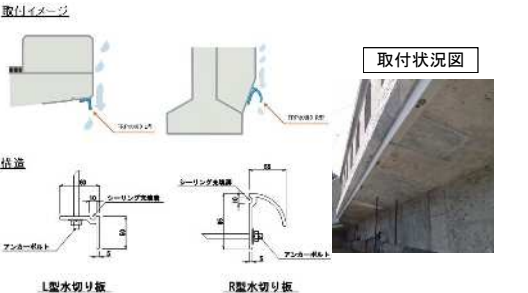
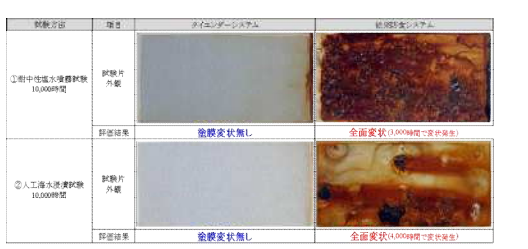
分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
コンクリート工	コンクリート打設	13	2302002A		本技術は、バクテリアと栄養分が混合されてできたBasiliskを生コンクリート製造時に混入するものである。固まったコンクリートにクラックが発生し、侵入した水と触れると、バクテリアが活動して炭酸カルシウムを生成して修復し、ひび割れの進行や増大、ひいては構造物の劣化サイクルを止めることができる。
			Basilisk HA 自己治癒コンクリート		
			(株)柏木興産		
		14	2302003A		不整地路面の生コン運搬で従来はコンクリート圧送設備を使用していたが、本技術のゴムクローラ式コンクリートミキサー車を使用することにより、経済性と施工性の向上、工程の短縮が期待できる。
			ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所		
仮設工	仮設材設置撤去工	15	2202003A		開削工事に於ける仮設土留材機材で、アルミ製の嵌合構造で構成している腹起しで、4.5~8.0mまで0.25mピッチでの伸縮が自由に可能。現場で容易に寸法調節が可能な腹起し製品の技術である。
			アジャスタブル腹起し (長さ調節機構付 きアルミ製長尺腹 起し)		
			日本スピードショア (株)福岡営業所		
	足場支保工	16	2302004A		本技術は、鋼橋や高架橋の仮設工事に適用するパネル式ユニットシステム吊り足場である。仮設工の作業時間を合理化し、施工の安全性を向上する技術であり、従来はパイプ吊り足場工・防護工で対応していたが、本技術の活用により安全な施工と経済性の向上が期待できる。
			パネル式ユニットシステム吊り足場 TOBISLIDE (トビ スライド)		
			(株)三共 福岡センター		
河川海岸	多自然型護岸工	17	2302005A		本技術は、フライホイール機構搭載オーガを用いて硬質地盤に鋼矢板を圧入する工法であり、従来は先行掘削砂置換+パイロハンマ工法で対応していた。本技術の活用により、玉石層や硬岩Iなどの超硬質地盤でも効率的に削孔と圧入を同時に行うことができ、工期短縮が図れる。
			硬質地盤クリアエ法(フライホイール式パイロオーガ)		
			(株)技研製作所 九州営業所		
河川海岸	多自然型護岸工	18	2102002A		本技術は、コンクリートブロック張工に関する技術である。「バイオコンクリートマット」は、布製型枠を施工箇所に敷設し、コンクリートやモルタルを注入する工法で、本技術の活用により施工性が向上し、工程短縮や経済性の向上が期待できる。
			布製型枠「バイオコンクリートマット」		
			大嘉産業(株)		

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
	多自然型護岸工	19	2402001A CNEconを使用したコンクリート製品 (株)ヤマウ	CO₂排出削減例 (70%削減の場合) CNEcon 93.5 セメント100%コンクリート 276 CO₂排出量 (kg/m³)	高炉スラグ微粉末をセメントの代替材として高含有した低炭素型コンクリート。リサイクル材(産業副産物)である高炉スラグ微粉末をセメント代替材として55~70%多量置換することによって、従来のセメントを100%使用した場合に比べCO ₂ 排出量を5割から最大で7割程度削減できる。セメントの使用比率を大幅に抑制して、セメント製造時に発生するCO ₂ の削減につなげ建設現場の脱炭素化を推進する。
河川海岸	—	20	2501002A 新規登録 イーザーフラップゲート(簡易ゲート) (株)乗富鉄工所	EASY FLAP GATE イーザーフラップゲート(簡易ゲート)	本技術は、二相ステンレス鋼を使用した高強度で耐食性・耐候性に優れたフラップゲートである。軽量でシンプルな構造のため、オールアンカーによる取り付けが可能であるとともに、扉体が開きやすいため、ゴミが詰まりにくいことから、施工性及び排水性等の向上が図れる。
	—	21	2501003A 新規登録 イーゼースライドゲート(簡易ゲート) (株)乗富鉄工所	EASY SLIDE GATE イーゼースライドゲート(簡易ゲート)	本技術は、二相ステンレス鋼を使用した高強度で耐食性・耐候性に優れたスライドゲートである。軽量でシンプルな構造のため、オールアンカーによる取り付けが可能であり、品質及び施工性等の向上が図れる。
	アスファルト舗装工	22	2002006A 道路のひび割れ抑制シート「グラスグリッド」 (株)アークノハラ 営業本部 中・西日本ブロック 福岡事務所	下からのひび割れを抑制 グラスグリッド (GlassGrid®)	従来技術に比べ、引張強度UPによりリフレクションクラック抑制効果が向上する。従来工法では、専用プライマー等副資材を要していたが、本製品は副資材が不要なため施工手間が軽減する。従来技術では敷設ができなかった、路盤の直上にも敷設ができる。
舗装工	—	23	2401002A 路床上面用ジオテキスタイルフィルター「PKL-110」 小泉製膜(株) 福岡事業所	ジオテキスタイルフィルター 施工事例写真 従来技術 新技術 透水係数 (As)	本技術は、車道以外の透水性舗装の路床と路盤の間に透水性のあるジオテキスタイルフィルターを敷設するものである。従来は路床を掘削し、フィルター層として砂を7cm敷設していたが、本技術の活用によって、フィルター層が不要となり、コスト削減、作業手間軽減による工程短縮が可能となる。
	特殊舗装工	24	2002007A ソイレックス・リサイクル・システム工法 (株)ハイクレー 九州支店	浄水発生土の再資源化プラント ソイレックス製品 学校や多目的グラウンドの改修 グラウンド現地土の改良 残土処分的大幅削減	従来技術は、降雨後の泥濘(ぬかるみ)が発生しやすく、排水を確保するため、中層、下層及び暗渠排水が必要ですが、本工法は舗装の耐水性を向上させ、中層、下層の施工が不要となります。(但し、雨水の排水設備までの移動距離が長い場合及び湧水など状況により、中層・下層を設ける必要があります)

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
舗装工	特殊舗装工	25	2002008A ゲリラ豪雨対策 雨水貯留型 改良土工法 (SLX-T工法) (株)ハイクレー 九州支店	 雨水貯留浸透施設として、貯留時のぬかるみ、放流時の土の流失、目詰まりを最小限に抑えることは、施設の防災機能を長期活用する上で重要なポイントになります。 豪雨時は、雨水貯留施設として地域の治水防災対策に貢献できる一方、放流後はスポンジ施設等本来の施設機能を速やかに取り戻すことを可能とする舗装工法が都市型（施設兼用型）治水事業に求められます。 このような不安や懸念を解決できるのはSLX-T工法です！ 豪雨時→雨水貯留施設の機能を定量的に維持 放流後→スポンジ施設としての機能復旧が速やかに実現可能 SLX-T工法は、無砂の無汚染土に土壌改良材 SLX-T を用いて改良し、雨水貯留施設としての雨水貯留機能を回復させる舗装技術です。	従来は、雨水の貯留により舗装面の膨潤崩壊、放流時の土の流出が起こるといった問題があったが、本技術では、SLX-Tでの改良により耐水性を向上させ、放流時の土流出を抑え、舗装面の機能を速やかに回復する事が可能となる。
			2202004A ライトバリア ベルテクス(株) 福岡事務所		ライトバリアは、最大100kJクラスの落石を捕捉できる、細径でありながらエネルギー吸収可能な高靱性支柱を用いた、自立支柱式の落石防護柵。軽量かつシンプルな部材で構成され、擁壁基礎のほか、軽量ボーリングマシンを用いた杭基礎による施工ができる。
			2202005A ロックバリア ベルテクス(株) 福岡事務所		ロックバリアは、最大500kJクラスの落石を捕捉できる、ワイヤロープ支持式の高エネルギー吸収型落石防護柵。人力施工による自穿孔式アンカーが可能で、分離構造の支柱と金網、ワイヤロープを組合せることで、軽量シンプルな部材により人力施工が可能。
付属施設	防護柵設置工	28	2402005A J-PETフェンス JFE建材(株) 九州支店		ネットフェンスの金網に使用される被覆材にペットボトルを再利用した樹脂を使用する技術。 ネットフェンスの金網に使用される被覆材を従来のポリエチレン樹脂からペットボトルの再生樹脂を含有した樹脂とし、金網1㎡あたり500mlのペットボトル5本分の再生樹脂が使用される。 限りある資源の有効活用の向上や廃棄物の減による二酸化炭素の削減が期待できる。
	道路付属物工	29	2302006A FRPシップ工法 (株)トッププランニング JAPAN 博多営業所		本技術は照明柱等の腐食鋼管の支柱内部を高強度繊維シートとモルタルにより、補修・補強する技術であり、経年劣化した既設照明柱等の強度を修復させる補強工法である。掘削作業を伴わないため工期の短縮が図れ、更に腐食部を新品同等以上の強度に修復できるため、施設の長寿命化によりライフサイクルコストの低減が図れる。
			2002005A マンガ安全カード (株)マサトー		従来は、看板・ポスターなどで掲示していたが、見える場所が限られていた。カードをポケットなどに携帯する、周りの人からも常に見えるヘルメットや道具、デスクやクリアファイルなど様々な箇所にシールを貼付するなどして、常に見えるようにすること（配布も容易）で、さらなる安全意識の向上を図ることができる。

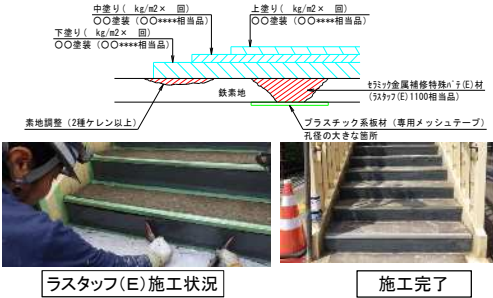
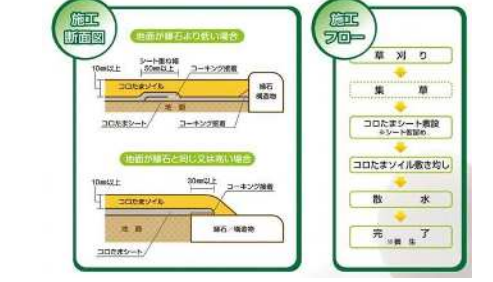
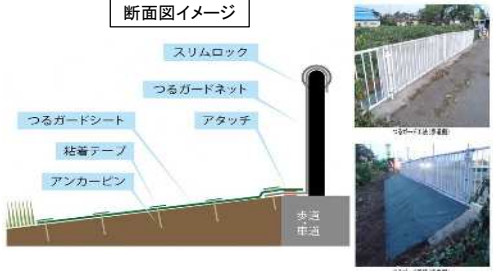
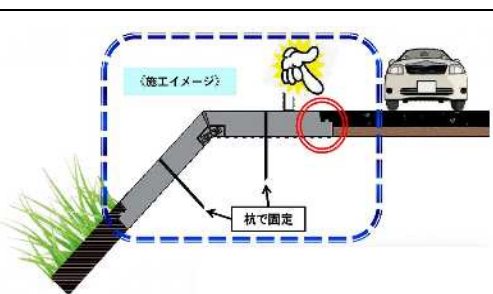
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
付属施設	—	31	2202002A		AR×マング技術を用いた労働災害防止のための新技術。作業手順書内に埋め込まれたARマーカーを読み込むことで、スマートフォン越しに“過去の事故事例”を再現したARマングを視聴することが可能。また同時にARマングを観た作業員の履歴管理も行える。
			KYデジタル		
			(株)シンフィールド福岡支社		
道路維持修繕工	道路打換え工	32	2402004A	[施工方法] 	路面舗装工事に用いる舗装材に廃材を再利用したブチルゴム合材を用いた技術である。 本技術は小規模施工面積(6m ² 以下)にて、常温の転圧により冷却時間なく道路開放が可能になるため、工程短縮が図れる。
			エコ型常温路面舗装材		
			(株)デーロス・ジャパン福岡営業所		
	路上路盤再生工	33	2501001A		本技術は、路上路盤再生工に使用する特殊重機「スタビライザ」にGNSS受信機や、アスファルト乳剤量、混合深さを測定する計測器を取り付けることで、各施工管理情報をリアルタイムに電子媒体に表示させることができ、オペレーターの施工管理が支援され、施工精度及び品質の向上が図れる。また、情報通信手段により、これら管理情報を遠隔で確認することが可能である。
			新規登録 スマートスタビライザモニタリングシステム		
			ニチレキ(株)九州支店		
	道路付属物塗替工	34	2201002A		本技術は対象物に厚み2～3mmのエポキシ樹脂を含浸させた高強力不織布を貼り付けるため、対象物の水・空気との接触を遮る他、錆除去等のケレン作業で削れて減った肉厚を補填し、強度維持を行える。また、微振動や温度変化による膨張・収縮にも追従するため、割れや剥がれが起きにくい。
			NEAc工法 「高強力不織布・樹脂含浸・柱脚防食工法」		
			小泉製麻(株)福岡事業所		
	橋梁補修補強工	35	2001006A		旧規格の地覆や壁高欄は、天端に横断勾配が設けられておらず、雨水が側面を流れ、床版底面の水切部に達します。「FRP水切り板」は、地覆天端からの雨水流下を制限し、側面や水切り部からの浸水を抑制することで、橋梁の長寿命化に貢献いたします。
			橋梁用FRP水切り板		
			(株)ダイクレ九州支店		
		36	2101002A		鋼構造物の塗装において、従来技術では塩害環境で使用した場合、塩分などの腐食因子を遮断できず、早期の不具合が生じていたが、新技術は遮断性に優れる下塗料を仕様しているため塩害環境でも長期にわたり塗膜下鋼材の腐食を抑制する。
			タイエンダーシステム		
			大日本塗料(株)福岡営業所		

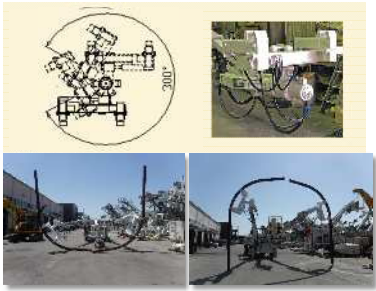
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
道路維持修繕工	橋梁補修補強工	37	2101003A メタモルシート#1 大日本塗料(株) 福岡営業所	自己修復機能によって元に戻る 温度変動 犠牲防食機能 自己修復機能を超える欠陥状態となった場合、粘着層中に含まれる亜鉛末の犠牲防食機能によって鋼材を保護する。 自己修復機能を超えた欠陥状態	鋼構造物において、従来の塗料による部分塗替えには4～6日の施工日数が必要だが、本工法は、貼るだけの1工程で施工が完了する。国内初の亜鉛末配合による犠牲防食機能をもったシートのため、防食下地(ジンクリッチペイント)を有する塗装系(Rc-Ⅰ)相当の性能をもつ。
		38	2101004A 自動式低圧樹脂注入容器「e-ジェクター」 小泉製麻(株) 福岡事業所	技術の概要	e-ジェクターは、コンクリート構造物のひび割れに注入材を自動的に、かつ低圧で連続的に注入することができる内蔵バネ加圧式を採用した小型注入容器(シリンダー)である。e-ジェクターの加圧バネは(0.1N)弱(0.04N)の2種類あり、現場環境、注入材により選択が可能。
		39	2301003A スラググリードSR工法 ダイキ工業(株)	①アルカリ粉体(高アルカリ配合) ②特殊防錆剤 ③特殊弾性合成樹脂エマルジョン アルカリ雰囲気 鉄鋼の腐食源である水酸イオンを利用した高アルカリ雰囲気による腐食を抑制する。 自己修復機能 電位の高値の腐食しやすい箇所での適用技術を確認している。 付着強度 アルカリ粉体と防錆剤のバインダーとして採用。特に亜硝酸塩を配合させる技術を持っている。 技術の概要	水系かつ高アルカリ性の下塗塗料を使用した工法であり、アルカリ防食と亜硝酸塩を組み合わせることで鋼材面を不動態化し、塗膜に損傷を受けても、自己修復機能により腐食を抑制できる。高度な下地処理も不要なためコスト削減も可能な工法である。
		40	2301004A スラググリードSR-F工法 ダイキ工業(株)	SR-F工法 断面イメージ 施工事例	コンクリート構造物中の鉄筋防錆剤として有効な亜硝酸塩を含有した浸透剤と厚付け塗料を、露筋部およびその周辺部に塗布することで、延命化する。鉄筋部を被覆する程度に施工し、断面を埋め戻さないため、剥落のリスクが低減できる。(埋め戻しを不要とすることが設計上問題ない場合に有効である)
		41	2302007A 非接触の塗膜除去工法「クリーンレーザー工法」 ニチハツ工業(株)	概要イメージ クリーンレーザーシステムの原理 Principle of	本技術は、高出力のレーザー光線を金属素材表面の有機性対象に照射すると、旧塗膜・鉄サビ部分を瞬時に除去し、気化(昇華)された旧塗膜は同時にバキュームにて吸引され、フィルターを介して処理される工法である。これにより、騒音の低減など、品質、施工性および作業環境の改善が図れる。
		42	2302008A セレクトコートさび鉄構造物リニューアル工法 アルファペイント(株) 福岡営業所	塗装写真例 錆サビ 錆サビ 錆サビ	本技術は、浮きサビ(層状／こぶ状サビ)のみ除去、残置の膜厚250μm以下の赤錆を安定な黒錆に錆転換・不動態被膜化して、従来工法Rc-Ⅰ塗装系(素地調整／下塗塗膜)の塩水噴霧試験が1000時間未満のところ、5000時間超の強靱な防錆力を発揮する下塗塗膜を形成する工法である。

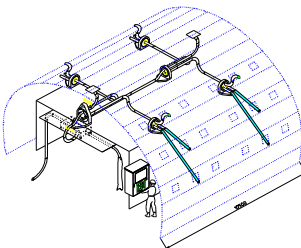
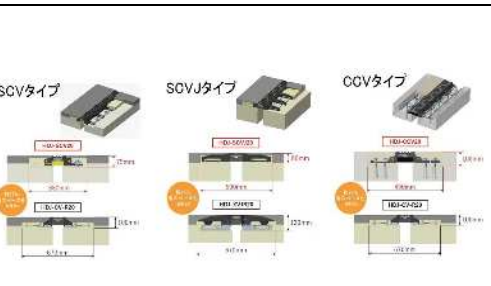
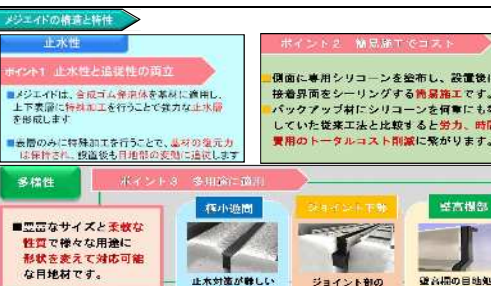
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
道路維持修繕工	横断歩道橋補修工	43	2001003A セラミック金属補修特殊パテ/ラス タッフ(E)1100 シリーズ (株)アクセス 福岡営業所		本製品は、高緻密な錆止めエポキシ樹脂をベースとしており、高耐腐食性を実現しています。また、従来技術に使用する不陸調整パテ材より付着・接着性能が約3倍あり、結露した金属面(工事中の鉄面に湿り気があっても)施工可能なため、施工不良がおきづらい。パテ補修後は直接塗装ができ、シート貼付け工程自体が不要なため、スピード補修が可能となります。
	道路除草工	44	2001001A シートと固まる土のハイブリッド防 草工法「かまださ んのコロンブスの たまご」 (株)ワイ・ビー・ケー 工業福岡営業所		防草シートの耐久性を向上させるため防草土とシートの二重構造を現場施工により一体化することでシートの劣化を解消したハイブリッド防草工法である。従来技術と比べて、夏場の炎天下で重労働とされる草刈りからの解放、維持管理経費が削減される他、景観の保持、不法投棄やゴミの削減、交通の視認性向上など快適な住環境が持続する。
		45	2001004A つるガード工法 (株)白崎コーポレー ション九州営業所		本技術は、つる性雑草類による法面への登攀や転落防止柵等への絡みつきを長期間防止する工法で、従来は機械除草(肩掛け式)で対応していた。本技術の活用により、道路除草手間の削減や視界不良・景観阻害などの問題が解消できるため、品質および安全性の向上が図れる。
		46	2001005A つる性強壮雑草 (葛)登攀防止ネット「バリオスネット」 小泉製麻(株) 福岡事業所		2×4mmまたは2×2mm目合いのポリエチレンネットを、立入防護柵等に結束バンド等で固定して設置することで、主にマメ科クズ属の多年草の巻ツル性植物である葛(くず)の登攀を抑制する製品。
		47	2102004A 防草型 路肩張りブロック 中里産業(株)		アスファルト舗装と製品を噛み合せ構造とした防草型路肩張りブロックを施工する事により、雑草の繁殖抑制が期待できる。また法勾配に応じて自由に対応できる。
		48	2301005A 竹(タケノコ)に特 化した生長抑制 工法「たけガード 工法」 (株)白崎コーポレー ション九州営業所		本技術は、防草工に関する技術である。道路等の竹除去作業において、特殊シートと専用ピンで竹の生長を抑制する工法で、従来は、肩掛け式草刈機とチェーンソーの伐竹で対応していた。本技術の活用により、以降の伐竹作業が不要となり、長期管理コストを削減できる。

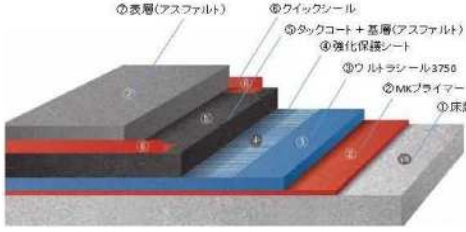
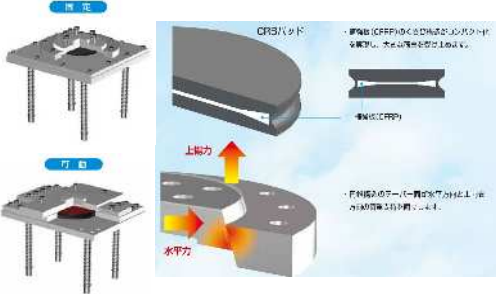
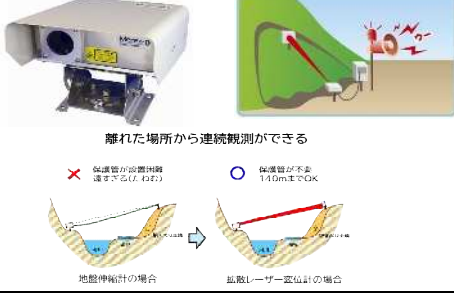
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
道路維持修繕工	道路除草工	49	2402007A 草ゼロプレート 早川ゴム(株) 福岡営業所		舗装部と縁石や水路の境界面に設置し、亜鉛イオンの効果により雑草の生育を抑制する製品。舗装の新設工事だけで無く、改修工事でも既存の縁石等の使用可能。施工は対象面に張り付けるだけの簡単施工で、舗装後は埋設される為、美観を損なわない。 本技術の活用により雑草の繁茂が減少し、経済性、安全性、環境保全等の向上が図れる。
			2102005A トンネル小片はく落対策工 「FF-TCC工法」 前田工繊(株) 福岡支店		従来技術はトンネル壁面のコンクリートのはく落が発生する恐れがある箇所に対する補修であり、予防・防止に対応できていないという課題があったが、本技術の活用により、はく落塊への追従性が高く、透明樹脂により変状確認がし易いため、安全性および施工性の向上が図れる。
			2102006A トンネルはく落対策工 「ハードメッシュ」 前田工繊(株) 福岡支店		ハードメッシュは、FRP格子筋とガラスメッシュを一体化させたトンネル小片はく落対策工対応用のメッシュ材です。トンネル覆工コンクリートの表面に固定することで、より小さなコンクリート片の落下を防止します。FRP格子筋が炭素繊維製グリッドであるため、薄くても高剛性、高耐力を有しています。
	共同溝工	52	2101005A サイドバー式 ディスク シリンダー錠 タキゲン製造(株) 福岡支店		従来技術のピン式シリンダー錠は、泥水や砂が浸入することにより、作動不良や機能障害が生じやすいという欠点がある。ピン式シリンダー錠はコイルバネやピンを内部に有するものであるため、路面のような悪条件下では故障が生じ易い。泥水や砂が鍵孔に浸入する可能性が高い屋外において使用可能で作動不良や機能障害が生じ難いディスクシリンダー錠である。
			2302009A トンネル坑内ずり運搬用ダンプトラック ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所		本技術は、トンネル工(NATM)のずり処理工で使用する、荷台の前面板に設けられた開閉装置及び車体脳視界モニタリングシステムを搭載し、通常運転用ハンドル操作盤とは別に後向き走行用のハンドル操作盤を備えた、バックの走行性を向上させる25tアーティキュレート式ダンプトラックの機械技術である。
	トンネル工 (NATM)	54	2302010A ロータリーキャッチャー仕様 エレクター付コン クリート吹付機 ニシオティーアンドエム(株)九州支店 福岡営業所		本技術は、支保工キャッチャーの把持する面(掘む面)が上向きから下向きに回転するロータリーキャッチャー仕様のエレクター付コンクリート吹付機であり、支保工建込とインバート支保工設置の作業の事故リスク軽減による安全性向上と作業効率化による施工性向上が図れる。

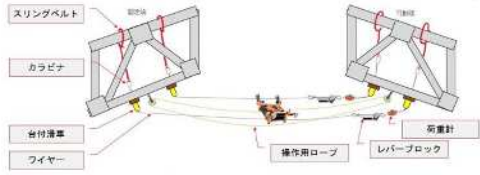
2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
トンネル工	(トンネル工) (NATM)	55	2402002A 全自動配管集中 管理システム オクトパス 備エムケー エンジニアリング		配管切り替え装置本体  集中制御盤  本技術は、複数の配管及び自動配管切替装置による覆工コンクリート打設方法である。本技術の活用により配管移動が不要となるため、施工性の向上と工期短縮となる。また、狭隘な場所での作業がなくなるため、作業環境の向上となる。
橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工	56	2002002A REJ工法 ビルドメンテック(株)		従来技術は、止水機能の低下により伸縮装置本体は比較的健全であっても撤去取替を行っていた。本工法は、伸縮装置が健全である場合、劣化した止水材を撤去し新しい止水材(シリコンシーリング)を充填し伸縮装置の機能回復を図る工法である。
		57	2102007A ヒノダクタイト ジョイント α CV(J)タイプ 日之出水道機器(株)		製品は、取替性・耐久性・走行安全性に優れたダクタイト製伸縮装置で、ボルト緊結構造により取替時に大掛かりな後打コンクリートのやり撤去を行わずに製品のみを取り替えることができるため、施工の省力化、並びに施工コストの低減が期待できる。
		58	2102008A ヒノダクタイト ジョイント α SCV(J)/CCVタイプ 日之出水道機器(株)		本技術は橋梁用伸縮装置に関する技術である。省スペースでも設置可能な荷重支持型鋳鉄製ジョイントである。従来は目地材や荷重支持型ジョイント(ゴム+鋼製)で対応していた。本技術の活用により床版厚が薄い橋梁やパラベット厚が狭い橋梁への設置が可能となる。
		59	2401001A メジエド ヒートロック工業 (株)福岡営業所		・橋梁の遊間目地部、ジョイント下部及び壁高欄部の目地処理に適用可能であり、雨水の侵入防止を目的とした止水材である。 ・止水性・耐久性が向上するため、ライフサイクルコスト削減が期待できる。 ・従来のプライマーの乾燥時間が不要なため施工性が向上し、工期短縮に繋がる。
		60	2402003A KFシールテクト YKB-J工法 (株)ハットリ工業 福岡支店		遊間部からの漏水が問題となっている橋梁伸縮装置の劣化材を除去し、止水塗膜を形成し補修する工法。 従来は既設橋梁伸縮装置の漏水補修として伸縮装置全体を取替える工法で材料費が高く施工手間が掛かるという課題があったが、新技術では劣化した伸縮ゴム部分のみの補修で対策が可能となり、材料費が安価で施工も簡易になるので経済性と施工性が向上する。

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
橋梁上部工	橋面防水工	61	2102011A 床板防水ウルトラシール工法 (有)エコ・プロ福岡営業所		従来工法では、塗膜防水シール施行後、珪砂を散布します。しかし珪砂はピンホールの発生原因の一つになります。当工法は珪砂の代わりに強化保護シートを使用するのでピンホールができません。またシール材も低温性に優れ、抜群のひび割れ追従性を持つため防水効果が他製品より高いです。
		62	2102009A 高面圧・コンパクトゴム支承 CRB-Z 東京ファブリック工業(株)福岡支店		CRB-Zは、ゴム支承内部に炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を使用し、さらに上沓と拘束リングプレートを円錐状に噛合わせることで、高面圧・コンパクト化を実現したゴム支承です。
		63	2002001A マルチレーザー計測システム Terasu 東亜建設技術(株)		従来はトータルステーション等を用いて、対象物の位置を直接(接触)計測だが、本システムは間接的に計測でき、同一センサを3つの移動体(UAV,車,人)で運用し、高密度・高精度の3次元点群データを取得することにより、地形・構造物全体を面的に把握できる。また、定期的に3次元点群データを取得することで経年変化を量的に把握できる。
調査試験	地質調査	64	2301006A パイプ傾斜計 (Dr.Clip) 明治コンサルタント(株)九州支店		パイプ傾斜計(Dr.Clip)は、地中変位を計測する機器である。従来は挿入式孔内傾斜計での計測である。本技術の活用により、水位観測孔の掘削コストや長期観測によるランニングコストの低減が図られ、連続データを取得することによる品質の向上が期待できる。
		65	2302011A 拡散レーザー変位計 明治コンサルタント(株)九州支店		本技術は、レーザ変位計であり、通常のレーザ光線を拡散スポット径を広げることで、対遮蔽物性の向上と人体への影響軽減化を達成する。また、雨・雪・草葉や人・車の往来がある環境下でも安定した連続計測が可能であり、警報装置と組合せにより、工事現場の安全管理や斜面監視にも役立つ。
	構造物調査	66	2001002A 浮き足場工法 (ゼニフロートX) ゼニヤ海洋サービス(株)九州営業所		本技術は、ポリエチレン製の浮き足場(ゼニフロートX)を用途に合わせて組合せ、桁下高が水面から5m以内の橋梁点検・調査および補修工事等を行うものであり、従来は銅製台船等に対応していた。本技術の採用により、作業の省力化および経済性の向上が期待できる。

2. 申請情報

分類1	分類2	NO	登録NO 新技術の名称 申請者名	概要図	新技術の概要
調査試験	構造物調査	67	2102001A ワイヤ吊下型 写真撮影式点検 ロボット (株)イクシス	■ ロボット本体 ① 対称構造を利用して、ワイヤを取り付けます。 ② 鋼材にワイヤの端部を固定し、レバーブロックにより 100kg 程度のテンションをかけます。 ③ テンションをかけたワイヤー上にロボットを載せ、検査用ロープで操作します。 	本技術は、橋梁等構造物の高所の点検作業をワイヤ架設式の移動式ロボットによるカメラ撮影を取入れて行う技術で、従来は、高所作業車等を使用して点検作業していた。本技術の活用により、現地作業時間が短縮され省力化し、人件費が削減され経済性の向上が図れます。
			2401003A スマートフォンによる道路点検DXシステム「GLOCAL-EYEZ(グローバルアイズ)」 ニチレキ(株)九州支店	スマートフォンと車があれば誰でも簡単に点検、道路の日々の管理から修繕工事の選定を支援 ①アプリ起動 ②スマホ設置 ③計測スタート・ストップ ④データアップロード ⑤パソコンから解析結果を即日確認可能 クラウドサーバでAI自動解析 	「GLOCAL-EYEZ(グローバルアイズ)」は、舗装路面のひび割れや段差などの損傷状態について、一般車にスマートフォンを取り付け、道路を撮影するだけで損傷状況を点検できるDXシステムです。道路の日常管理から修繕工事の選定まで支援できます。
			2402006A リアルタイムクラウド監視システム (GeoPla) (株)ジオテック技術士事務所		このデジタル傾斜計は高精度・高頻度データ取得かつ省電力・経済性を追求したコンパクト設計のため、容易に多点配置、点ではなく面でのモニタリングと詳細分析が可能である。また、監視カメラを併用することで、モニタリングで得られた情報を遠隔リアルタイムに確認・監視することができる。
施工管理	—	70	2301007A 土木積算+安全管理 パッケージ「ATLUS NEXT S PACK」 (株)コンピュータシステム研究所 福岡営業所	 システム利用例	施工現場におけるリスクアセスメントから労働安全管理の実施・運用を行うシステムであり、従来は関連情報を手作業で集約、分析していた。本技術により、安全管理に必要な各種情報集約を効率的に実施でき、労働災害防止効果を向上させることができる。(従来技術との比較における経済性や工程の優劣は、工事受注者が判断する)

※最新情報はホームページをご確認ください。